

2歳未満のお子さんのマスク着用はやめましょう

新型コロナウイルス感染症拡大予防のためにマスクの着用が全世界で推奨されています。日本ではインフルエンザ流行期やスギ花粉飛散時期にマスクを着用することが多い日常習慣がありました。しかし、2歳未満の着用が増えています。しかし、2歳未満のお子さんについては、むしろ着用による危険性が考えられています。日本小児科学会、日本小児科医学会、アメリカCDC(疾病管理予防センター)、AAP(アメリカ小児科学会)等の小児科医、感染症専門家による一致した見解です。次に2歳未満の乳児がマスクをすることの危険性を挙げます。

- 1 お子さんの気道は狭いので呼吸がしにくくなり、心臓や肺に負担がかかる。
- 2 マスクそのものや吐いたものにより窒息しやすい。
- 3 マスクで熱がこもって、熱中症の危険性が増す。
- 4 顔色や表情が分かりにくくなり、体調の変化に気がつきにくくなる。
- 5 乳児突然死症候群の危険性が増す。

もともと日常生活でマスクをすることは感染から体を守るのではなく、自分が感染症を持っている場合に周りの人に広げない

いようにすることが目的です。人と人の間で唾液を介した飛沫感染を防ぐことは有用です。これは新型コロナウイルス以外のインフルエンザや感冒でも同様です。感染を予防するマスクはより密閉度の高いN95マスクなど医療用の特殊なマスクですが、これはとても息がしにくく日常生活には向きです。

子どもでの新型コロナウイルス感染症では次の様なことがわかってきています。

- 1 子どもでは感染が少なく、ほとんどが同居する家族から感染している。
- 2 子どもは重症例が少ない
- 3 学校、幼稚園、保育園でのクラスター(集団発生)は少ない。
- 4 感染した妊婦さんからの妊娠・分娩での赤ちゃんへの感染はまれである。

それでは乳児がマスクをせずに、新型コロナウイルスや他のウイルス感染から守ったり、感染を広げないようにするためにはどうしたらよいでしょうか。アメリカCDCも「マスクよりも、2mの距離を置くことが有効」と述べています。外出時には人混みを避けることが一番ですが、どうしても乳児を連れて人の集まる場所に出かける

2歳未満の子どもにマスクは**不要**

×
むしろ**危険!**



場合に、周囲の人の目が気になることがあると思います。それにはベビーカーのシェード(日よけ)を出したり、顔を親向きに抱っこするなどの対応が考えられます。また、大人が感染症を持ち込み、同居する家族にうつしてしまわないようにすることが大切です。ウイルスに汚染されたおもちゃや本などに触れた手で、口や鼻、眼を触ることで感染しますので、手洗いやよく手に触れるものの消毒もお勧めします。